

新発見！
初公開！
孔雀牡丹図



雲谷等顔《孔雀牡丹図屏風》(左隻)
山口・洞春寺蔵 山口市指定文化財

墨×金
対極の美の融合



伝雲谷等顔《春夏山水図屏風》(右隻)
個人蔵 重要文化財

墨
で魅せる、
奇怪な仙人たち！



雲谷等顔《群仙図屏風》(右隻)
京都国立博物館蔵

新発見・初公開！ 毛利家伝来の逸品



雲谷等顔《瀟湘八景詩画卷》(部分) 個人蔵

Yamaguchi Prefectural Art Museum

2018 - 2019 schedule

山口県立美術館 平成30年度年間スケジュール

	展示室 A	展示室 B	展示室 C	展示室 D	展示室 E	展示室 F
9						全館休館 (8/27-9/6)
10	9/7(金)-12/9(日) 山口ゆかりの 画家たち	9/7(金)-12/9(日) シベリア・シリーズII	9/7(金)-10/21(日) 近世防長画人伝	特別展 9/7(金)-10/21(日) 驚異の超絶技巧！ 明治工芸から現代アートへ ファーストマンデー 10/1		全館休館 (10/22-31)
11			11/1(木)-12/9(日) 修理完成記念 雪舟 《山水図巻》の謎	特別展 11/1(木)-12/9(日) 没後400年 雲谷等顔展 ファーストマンデー 11/5、12/3		
12						全館休館 (12/10-2/13)
1						
2	2/14(木)-4/7(日) ヌードの魅力	2/14(木)-4/7(日) シベリア・シリーズIII	2/14(木)-4/7(日) 山口のお宝 (仮称)	2/14(木)-3/3(日) 第72回 山口県美術展覧会		
3						特別展 3/20(水)-5/6(月・祝) 扇の国、日本 ファーストマンデー 4/1、5/6

Information

■休館日

月曜日(祝日・休日の場合は開館)
※ただし、ファーストマンデー 特別展開催中の第1月曜日は開館。
展示替期間 10月22日(月)-10月31日(水)、12月10日(月)-2019年2月13日(水)

■開館時間

9:00~17:00(入館は16:30まで)

■料金

コレクション展：一般300(240)円 学生200(160)円
※()内は20名以上の団体料金。
※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する生徒は無料。
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。
特別展：別途定めた料金



山口県立美術館
Yamaguchi Prefectural Art Museum
〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1
TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790
http://www.yma-web.jp/

美術館情報をFacebookで紹介しています。

Yamaguchi Prefectural Art Museum

130

Contents

特別展

没後400年 雲谷等顔展

驚異の超絶技巧！ 明治工芸から現代アートへ
扇の国、日本

HEART

第72回山口県美術展覧会

館内インフォメーション

キャンパスメンバーズ

年間スケジュール

山口県立美術館ニュース「天花」

天花

TENGE

特別展

没後400年

雲谷等顔展

2018年

11月1日(木)

→12月9日(日)

※会期中は展示替えを行います。
詳しくはウェブサイトにてご確認ください。



雲谷等顔《群馬図屏風》(左隻) 京都国立博物館蔵

本年は、雲谷派の祖・雲谷等顔(1547~1618)の没後400年に当たり、当館ではこの節目の年に記念展を開催します。本展は1984年に当館で開催した「雲谷等顔と桃山時代」展以来、34年ぶり、最大規模の大回顧展となります。

等顔は桃山画壇4巨匠の一人ですが、狩野永徳や長谷川等伯など豪華な絵を描いた絵師に比べると、「雪舟の後継者」として水墨画を本領としたためか、地味なイメージを持たれがちです。しかし、墨を極め、その魅力を知り尽くした等顔が繰り出す表現は幅広く、とくに山水画のジャンルにおいて到達した境地は、桃山時代随一といっても過言ではありません。等顔は毛利輝元側近の絵師・文化ブレーンとして、山口を拠点にしながら、京都では名立たる禅僧たちと交流し、寺院でも数多く筆をふるうなど大いに活躍しました。

今回は国内の等顔の代表作をはじめ、アメリカのボストン美術館からも名品が里帰りします。戦国から泰平の世へと移行する激動期において、水墨画の多彩な表現を模索した雲谷等顔の画業と実像を、息子や弟子の作品、歴史資料、新発見・初公開を含む82件の作品によってご紹介します。

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜、ただし11月5日、12月3日 ファーストマンデーは開館

観覧料 一般1,300(1,100)円/シニア・学生1,100(900)円/18歳以下無料
※シニアは70歳以上の方、()内は前売りおよび20名以上の団体料金。
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

主催 山口県立美術館、読売新聞社、KRY山口放送



雲谷等顔《山水図屏風》(左隻) 山口県立美術館蔵

Collection

山口県立美術館ニュース「天花」第130号 平成30年9月発行

編集 指定管理者サントウバーブリックセンター 発行 山口県立美術館 印刷 腰報社写真印刷株式会社

特別展 明治150年記念、yab開局25周年特別企画

驚異の超絶技巧！ 明治工芸から現代アートへ

9月7日(金)～10月21日(日)

休館日 9月10日(月)、10月15日(月)
開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

観覧料

一般 1300(1100)円 / シニア・学生 1100(900)円

*シニアは70歳以上の方、()内は前売料金20名以上の団体料金。
*高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。
*障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

主催

山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送

監修

山下裕二(明治学院大学教授)

企画協力

広瀬麻美(浅野研究所)

協力

清水三年坂美術館

月曜日も美術館へ！

9月17日(月)、24日(月)、
10月1日(月)、8日(月)は開館。

いつもの美術館ならば月曜日はお休み、
でも、今回は違います。本展の会期中、
月曜休館は2日だけ。この機会を利用して、
是非「驚異の超絶技巧」をご堪能ください。

18歳以下無料



【陶磁】

稲崎栄利子《Arcadia》2016年



【木彫】

大竹亮峯《飛翔》2017年



旭 玉山《银杏鳩図文庫》
清水三年坂美術館蔵 【木彫】



【七宝】

並河靖之《蝶に花の丸唐草文花瓶》
清水三年坂美術館蔵



【牙彫】

安藤緑山《胡瓜》

近年、明治工芸に対する注目度が飛躍的に高まっています。かつて、輸出品として海を渡った作品が、次々と里帰りを果たし、多くの人々がその魅力を再発見しています。

本展は、そのきっかけともなった「超絶技巧！明治工芸の粋」展(2015年)の続編というべきもので、その「超絶」ぶりが大いに話題になった展覧会の第2弾です。

前回に引き続き、村田理如氏が長年にわたり国内外から収集した明治工芸コレクション(京都・清水三年坂美術館所蔵)を中心に、近年各所での調査で確認された新出作品を交え、七宝、金工、牙彫、木彫、漆工、刺繍絵画など幅広いジャンルから厳選された逸品の数々を公開します。くわえて、明治の「超絶技巧」を受け継ぎつつ新たな世界を築いている15人の現代作家による驚愕の現代アートも多数ご紹介いたします。

もはや失われて久しいと思われていた明治の工人たちの超人的センスと「わざ」の数々が、時空を超えて脈々と引き継がれているその姿を、明治工芸と現代アートのコラボレーションでご覧ください。

特別展

扇の国、日本

平成31年3月20日(水)～5月6日(月・祝)

「扇」は、中国に起源をもつ団扇に由来するものでありながら、折り畳み形式が日本で考案され、海外に流布していったものです。すでに11世紀には朝貢品や貿易品として中国や朝鮮半島に献じられていました。

また、扇は暑さをしのぐ道具であるのみならず、宗教祭祀や日常生活、芸能や遊戯の場において、私たち日本人の暮らしと深く広く関わりをもって発展してきました。室町時代の市井の扇屋では、幅広い購買層を対象に扇が商売されていました。気分や場所、季節に応じて取り替えて常に携帯できる扇は、貴賤を問わずいつでもどこでも楽しめる、最も身近な美術品だったといえるでしょう。

美術品としての扇は単に消費されるだけではありませんでした。骨が外されたのちの扇絵が画帖や屏風に大切に貼られるなどして、扇面流し図屏風という新たな鑑賞形式に再生されました。さらに、扇そのもののかたちが絵画だけにとどまらず、工芸や染織とも結びついて多様な作品を生み出しました。

あらゆる流派によって制作され、あらゆるジャンルとメディアに応用されてきた扇。本展では、日本人の愛した悠久の扇の世界を、さまざまな作品や史料を通じてご紹介します。



国宝(彩繪摺扇(阿須賀神社古神宝類のうち))1握
南北朝時代 14世紀、京都国立博物館



重要文化財(色絵釘隠)
伝野々村仁清作、21個のうち17個
江戸時代17世紀、京都国立博物館



重要文化財
《扇面図(名古屋城湯殿書院への西創製絵)》
4面、江戸時代寛永10年頃、名古屋城総合事務所

HEART2018

平成31年2月14日(木)～3月3日(日)

今年12回目を迎えるHEART2018は、創始以来72年の歴史を誇る山口県美術展覧会を核として開催いたします。会期中は、美術館(美術)と、街(日常生活)をつなぐためのイベントを企画し、「ものづくり」とそれを通じた「コミュニケーション」の楽しさや大切さを伝えていきます。

第72回山口県美術展覧会

平成31年2月14日(木)～3月3日(日)

ジャンルの枠などの制限がなく、自由な表現の作品が魅力の山口県美展。展示室いっぱいの創作意欲あふれる作品たちと共に、作家ご本人が制作の秘密を明かすギャラリートーク「自作を語る」や、県美展作家たちの作品を販売するコーナー「アート・マーケット」もお楽しみください。詳しくは、県美展要項か美術館ホームページをご覧ください。

休館日 2月18日(月)、25日(月)

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

観覧料 一般500(400)円 学生400(300)円
()内は20名以上の団体料金

*70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、
高等学校、特別支援学校に在籍する方等は無料。
*障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名
無料。

審査員

岩崎貴宏 (美術作家)
篠原資明 (美術評論家、高松市美術館館長)
椿昇 (現代美術作家、京都造形芸術大学教授)

特別展示

昨年度の大賞受賞者、山根秀信氏による新作を
展示します。



第71回山口県美術展覧会大賞受賞作品
山根秀信(山口市)《食卓上の廃墟2017》

i

館内
インフォメーション

平成30年度
キャンパスメンバーズクラブ

山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の2館では、展覧会等を通じて、美術に広く親んでいただき、地域文化の向上に寄与することを目的として運営する「県立美術館メンバーズクラブ」に加え、平成29年度より新たにキャンパスメンバーズの制度を開始しました。両館を有効活用し、美術に親しむ機会をより豊かにしていただく、高等教育機関向けの会員制度です。加入校の学生及び教職員の皆様は、身分証を提示していただくのみで、展覧会を無料で何度でも鑑賞いただけます。

平成30年度：9法人18校

宇部フロンティア大学、宇部フロンティア大学短期大学部、山陽小野田市立山口東京理科大学、至誠館大学、山口学芸大学、山口芸術短期大学、山口県立大学、山口コアカレッジ、山口コ・メディカル学院、山口大学、山口短期大学、YIC看護福祉専門学校、YICキャリアデザイン専門学校、YIC公務員専門学校、YICビジネスアート専門学校、YICビューティーモード専門学校、YIC保育&ビジネス専門学校、YICリハビリテーション大学校(※50首順)

